

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第43週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第43週分 10月25日～10月31日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 3,271例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

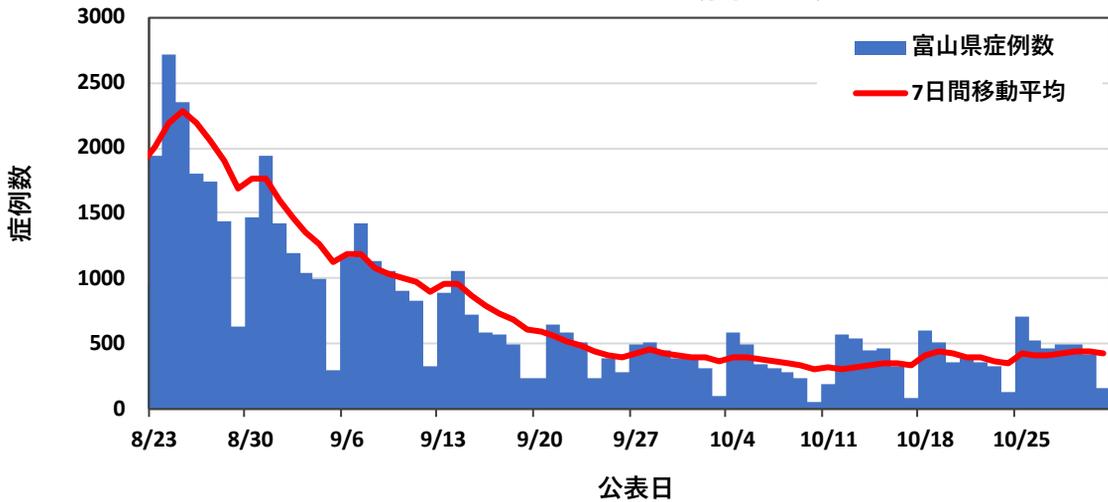
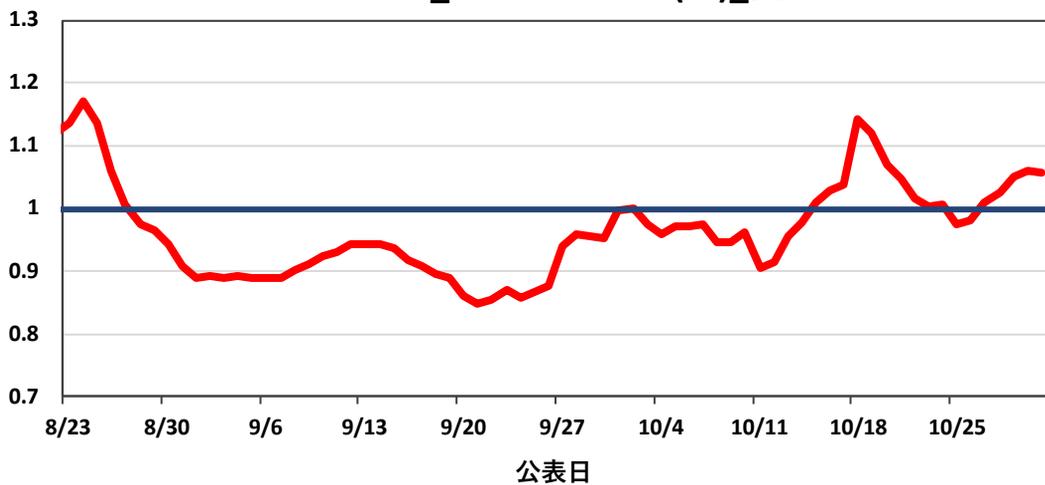


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数})^{\text{平均世代時間} / \text{報告間隔}}$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、43週）

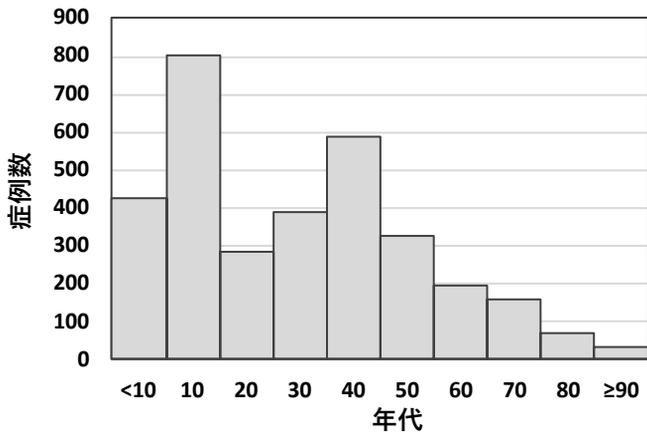


図4. COVID-19年代別割合（富山県、43週）

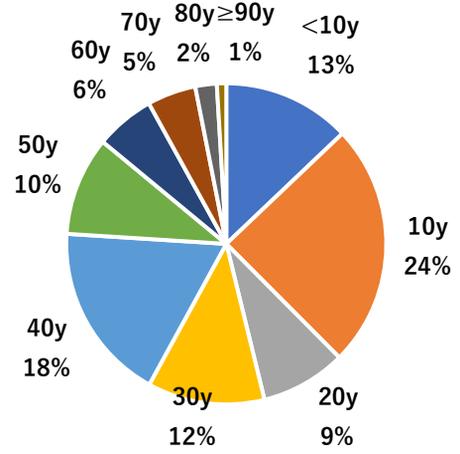


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

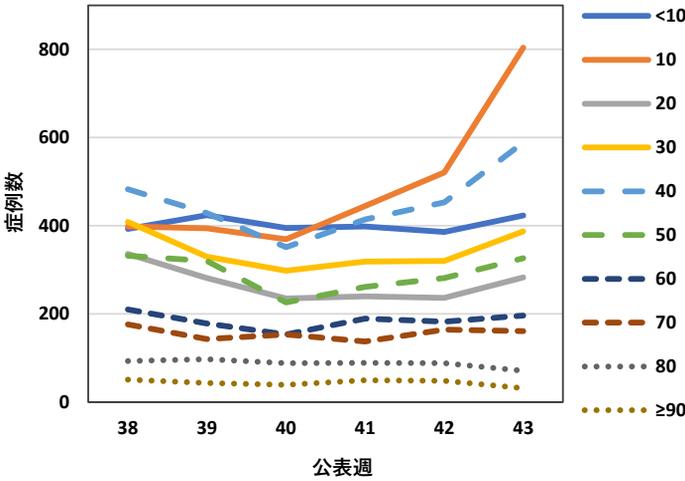
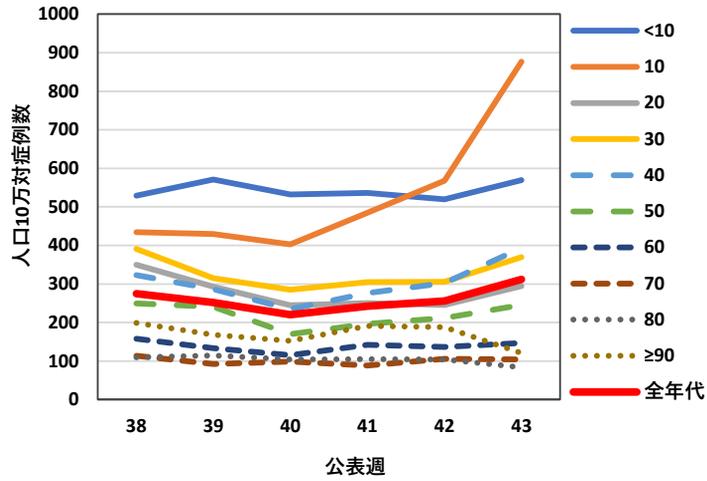


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



10月31日時点での所見と評価

- 第43週の新規報告数は、3,271例。先週（2,679例）より増加傾向となっている。
- 実効再生産数（図2）は、10/25に0.97まで低下したがその後再び上昇し、10/31時点で1.06。
- 第43週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。10歳代が最も多く、24%を占めた。追って40歳代、10歳未満、30歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は14%。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。図5の年代別推移で見ると、10歳代の顕著な増加が認められ、40歳代の増加がそれに続いた。50歳代以下のすべての年代で増加傾向となっている。